

ベギー葉山さんが歌う

『まほろばの国』39年ぶりに復活

昨年、十月『まほろばの国』をもう一度一四一年ぶりの丸山小学校同級会で「ベギー葉山さんも応援」の記事を記憶いただいているでしょうか。半年前の話になりますが、私たち昭和三十五年卒業の丸山小学校七組同窓生は、四十一年ぶりに喜神温泉で「ほろばの国」同級会を開催しました。全国から三十九名、出席率八割と大盛会でした。世話役の私は、ある歌を全員で歌いたいと準備



ベギー葉山さん

ほろばの国。団塊の世代前後の方は多分ご記憶のことと思います。

昭和三十八年、今から三十九年前にSBC信越放送のテレビ、ラジオから絶え間なく流れたあの歌です。ことの発端は、昨年八月末のベギー葉山さ

んどのEメールのやり取り。私からの「まほろばの国」の歌詞を探しているとの、問い合わせに対してベギーさんから「メールを頂きました。一九六三年にレコーディングのドーナツ盤は我が家の古い

7月21日飯伊童謡・唱歌

まつり(飯田文化会館)にて①

熊谷正宏

レコードダンボールの中で眠っておりまして。リストをみましたら、「ま」の一番となっております。歌詞もはっきりと残されておりまして。岩谷時子作詞です。私もこの歌は信越放送の記念盤として

歌って大変印象に残っております。皆様と歌ってくださればこの歌もさぞや喜びます事でしょう。因みにこの盤はもう廃盤ですので、私がカセットにお取りいたしましたものをお届けします。ベギー葉山。

そのレコードジャケットに書かれた解説によりますと『まほろばの国』作詞・岩谷時子、作曲・広瀬健次郎、歌・ベギー葉山、二〇〇万の心でみがけ、わが信州・当時の長野県人口は百九十八万人現在、百三十一万人、まほろばといふのは、すぐれたよい所、という意味で、万葉集・景行紀などにみえる古語です。わた

したちの愛する美しい郷土・長野県は、山高く、水清く、空気が澄んでいて、まさに「まほろばの国」である。この郷土を美しく磨きあげようと、信越放送ではこの歌を作り、昭和三十八年度の年間事業として「長野県を美しくする運動」をくりひろげております。みんなの心をあわせて、美しい長野県をつくりましょう」と書かれていました。

昭和三十八年といえ、鉄腕アトム、高校三年生、美しき年代、こんにちには赤ちゃんなどの歌が流行り、吉展ちゃん誘拐事件、ケネディ暗殺、三池炭坑爆発、力道山刺殺さるなど暗いニュース、横綱大鵬六場所連続優勝、海老原博幸ホクシングタイトル奪取、黒四女ム完成など明るいニュースもこの年でした。そんな世相の中、私をはじめとして長野県民は、信越放送のテレビ、ラジオから絶え間なく流れるこの歌を、家族とそして友とよく歌ったものでした。飽きるほど歌った記憶があります。いまも記憶から途切れることはありません。『まほろばの国』は私のとってはまさに青春の歌といえます。

(つづく)

【飯田市高野町出身】千葉県東葛飾郡沼南町在住】